

■西尾実 国文学者、教育家。独特かつ体系的な学習法で全国に大きな影響及ぼし、戦後は国立国語研究所初代所長。

にしおみのる

帝国憲法発布1889＝ 長野県下伊那郡豊村大字和合字帯川(阿南町)で農家の次男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 5歳：

日清戦争終・1895＝ 6歳：下伊那郡豊村大字和合尋常小学校帯川分教場尋常科に入学，

子規句歌革新1898＝ 9歳：

Bushidou・ 1899＝10歳：卒業し，尋常補習科に進む。

田中正造直訴1901＝12歳：卒業し，大下条尋常高等小学校高等補習科に入学。

教科書疑獄・1902＝13歳：

日比谷公園・1903＝14歳：卒業し，医院の薬局生を経て，和合尋常小学校の代用教員となる。

日露戦争終・1905＝16歳：退職し，長野市の予備校{中野塾}に入り，

満鉄発足・ 1906＝17歳：長野県師範学校に入学。

韓国反日暴動1907＝18歳：

韓国併合・ 1910＝21歳：卒業し，下伊那郡飯田尋常高等小学校訓導として赴任，同僚となった森下二郎の影響を受ける。

明治天皇没・1912＝23歳：大下条尋常高等小学校に転任して，結婚後，東京帝国大学文科大学選科(国文学専攻)に合格し，上京。

21ヶ条要求・1915＝26歳：卒業後も，東京市立日本橋区の夜学校訓導を務めながら，東大で研究を続ける。

民本主義・ 1916＝27歳：

ロシア革命・1917＝28歳：夜学校を退職し，淑徳高等女学校教諭となる。

本格政党内閣1918＝29歳：退職し，松本女子師範学校教諭となり，

ベルサイユ条約・1919＝30歳：同附属小学校主事を兼ねる。

大暴落・ 1920＝31歳：_{信濃教育会}の雑誌編集委員を囑託され，

原敬首相暗殺1921＝32歳：補習国語読本編集委員に就いて，社会教育調査委員を囑託されると，県立図書館設立を具申し，以後，その実現まで尽力。

水平社結成・1922＝33歳：松本女子師範学校を辞職。さらに雑誌編集主任になり，

関東大震災・1923＝34歳：長野県師範学校教授囑託するも，

護憲三派圧勝1924＝35歳：辞任。修身教科書を使わない授業で文部省から罰せられた<川井清一郎訓導事件>に，誌上でたたかう。

治安維持法・1925＝36歳：妻が死去。_{信濃教育会}を辞任して上京，私立成蹊高等女学校専攻科主任。

円本時代始・1926＝37歳：東京市立第二中学校授業囑託。松本女子師範学校同僚は江と再婚。

世界恐慌・ 1929＝40歳：成蹊高等女学校を辞職，第二中学校の専任となる。*「国語国文の教育」を世に問い，学習者をいざなう独特かつ体系的な方法が，信州教育の指導理論となり，全国的にも大きな影響を及ぼす。

満州事変・ 1931＝42歳：

国際連盟脱退1933＝44歳：岩波書店の研究誌{文学}編集委員となり，中学用国語教科書の実際上の編集責任者もつとめる一方，東京女子大学教授に就任し，「方丈記」「徒然草」や道元・世阿弥研究を推進し，話し言葉を軸とする言語教育や問題意識喚起の文学教育を提唱。

帝人疑獄事件1934＝45歳：*国語教育学会が設立され，常任理事として，会の活動の中心となる。

芥川直木賞始1935＝46歳：第二中学校を辞し，法政大学文学部非常勤講師となり，中世文学を講じる。

二二六事件・1936＝47歳：文部省教学局に設置された日本語振興委員会の臨時委員や専門委員となり，

日中戦争始・1937＝48歳：

総動員+健保・1938＝49歳：文部省から大陸向けの日本語教科書編集を委嘱され，

第二次大戦始1939＝50歳：法政大学文学部非常勤講師を辞任。文部省と興亜院の囑託として，大陸での日本語教育の実情を視察。

大政翼賛会・1940＝51歳：法政大学高等師範部非常勤講師，日本放送協会の学校放送に関する事務を囑託される。

日米開戦・ 1941＝52歳：日本語振興委員会総主事に任命され，

・・・・・・1942＝53歳：さらに常任理事となる。

創価学会検挙1943＝54歳：中学校・師範学校の教授要目編成委員，国定中等学校教科書国語の編集委員長。

敗戦・ 1945＝56歳：

新憲法公布・1946＝57歳：法政大学教授を兼務。国語審議会臨時委員，人文科学委員会委員に委嘱され，GHQのもとで苦慮。

新憲法施行・1947＝58歳：「言葉とその文化」を著す。

極東裁判決・1948＝59歳：「文芸作品研究序説」を著す。

三大事件・ 1949＝60歳：*「伝統文化の課題」。東京女子大教授を辞任して，国立国語研究所の初代所長に迎えられる。

朝鮮戦争始・1950＝61歳：「言語教育と文学教育」。

独立回復・ 1951＝62歳：「国語教育学の構想」。

メデー事件・1952＝63歳：「書くことの教育」。

テレビ放送始・1953＝64歳：緑内障手術のため一時入院。法政大学での伝書研究会に常時出席，観世宗家にも度々出向く。

自衛隊発足・1954＝65歳：日本国語教育学会初代会長にも推される。

55年体制始・1955＝66歳：「作品研究つれづれ草」，

国連加盟・ 1956＝67歳：岩波{文学}編集委員を辞任。

なべ底不況・1957＝67歳：「日本人のことば」。

美智子妃・ 1959＝70歳：「西尾実集(私たちはどう生きるか)」。

安保闘争・ 1960＝71歳：国立国語研究所所長を退官。法政大学から文学博士号を授与され，

タイタイ病始・1961＝72歳：*法政大学教授も退任。

全国総合計画1962＝73歳：

東京初バツカ1964＝75歳：{信州教育会}出版部から「信州教育と共に」。紫綬褒章。

大学紛争始・1965＝76歳：私立東京成徳短期大学教授。勲三等瑞宝章。

いざなぎ景気1966＝77歳：妻が死去。「ことばの教育と文学の教育」。

全共闘バツカ1969＝80歳：「人間とことばと文学と」。

大阪万博・ 1970＝81歳：全日本国語教育学会初代会長。阿南町名誉町民に推挙され出席，以後，旅に出ること無く，

日中国交回復1972＝83歳：成徳短期大学教授も辞任，

角栄金脈辞任1974＝85歳：「世阿弥の能芸論」。「西尾実国語研究全集」刊行開始，

田中角栄逮捕1976＝87歳：全10巻で完結。全日本国語教育学会初代会長を辞任し，

革新大敗北・1979＝90歳：東京杉並の自宅で，没した。

平凡社百科事典，インターネット(下伊那教育会)